

行書の学習

今日のねらい

- ① 行書の特徴を理解し、表現できる。
らんていじょ ・おう ぎし
- ② 蘭亭序 ・王羲之について理解する。

行書の特徴 (前回の復習)

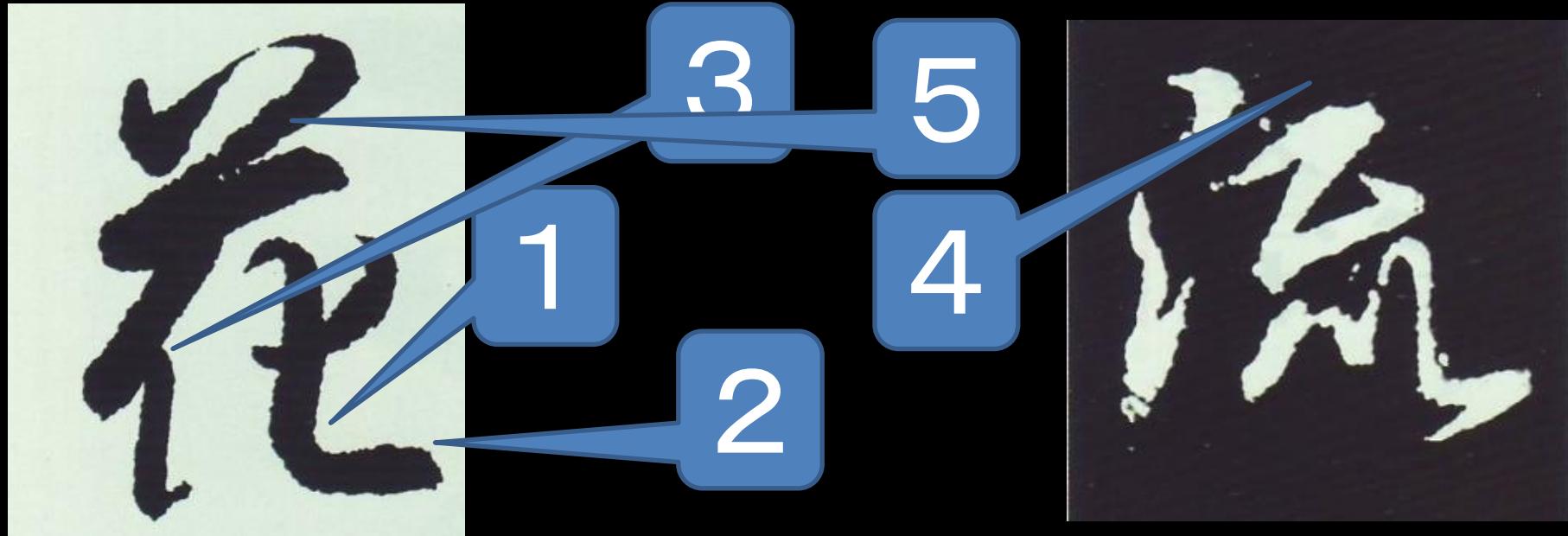
- ・行書の特徴



前回学習しましたが、
覚えていきますか？



特徴は、全部で
5つあります



- 1 点画が(**曲**・直)線的
- 2 点画の長さや(方向)が変化する
- 3 点画が(連續)することが多い
- 4 点画が(省略)されることがある
- 5 (筆順)が変わることがある

行書の歴史

行書は、

- ①篆書(てんしょ)
- ②隸書(れいしょ)
- ③草書(そうしょ)

の後に生まれた書体です。

西暦三〇〇年頃



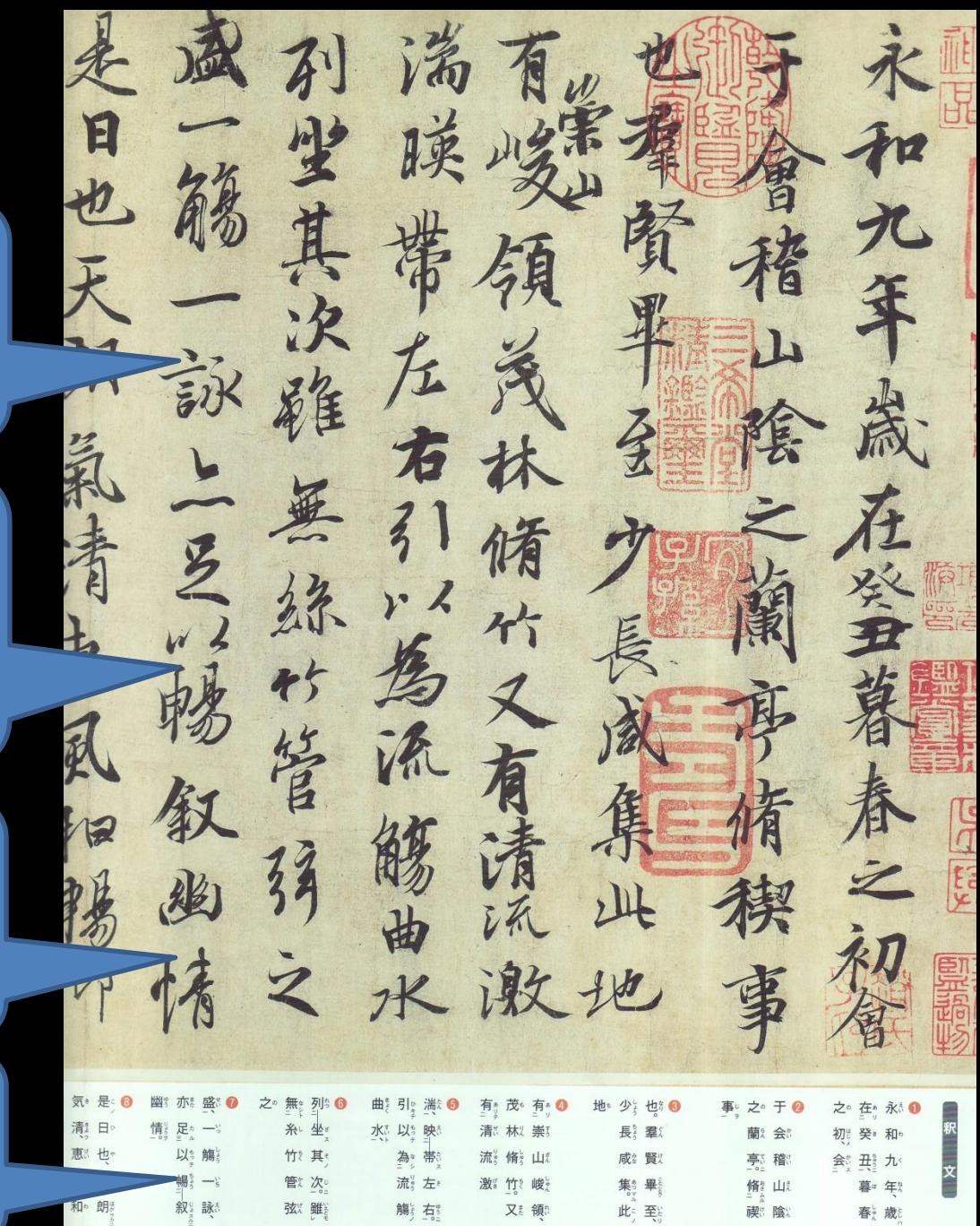
蘭亭序

Q1 この作品について、気づくこと・おかしな所はありませんか？

A1 字の上から塗りつぶしたり、太く書いたり、横から書き足した部分がある

Q2 ということは、この作品は、清書？ 下書き？ どちら？

A2 解答は少し後のスライドで



作者 王 羲之(おう ぎし)について

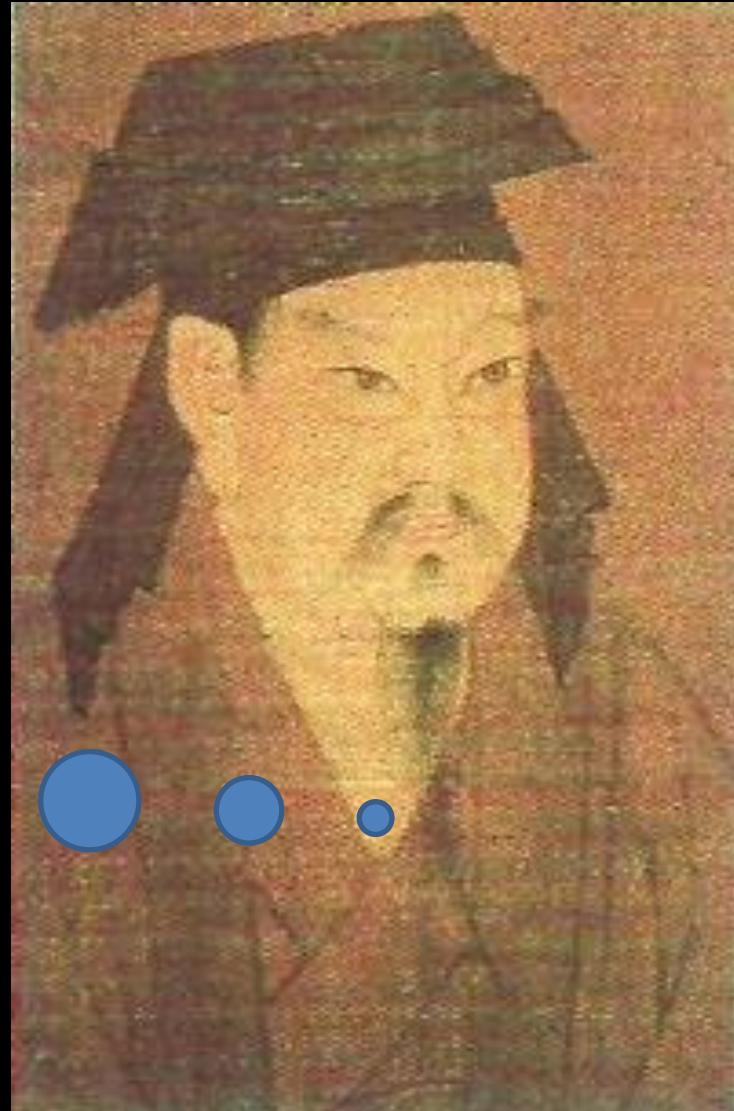
しょせい

書聖(=書道の聖人

=書道の神様

=書道史上NO1)

なぜ、王羲之の作品が
NO1と言われれるのか
考えましょう！



蘭亭序(らんていじよ)と曲水の宴

- 王羲之が県知事をしていた当時の領地の
蘭亭という場所に、地域の有名人41人を
集めて宴会をした時に·····



見たことがありますか？
太宰府天満宮でもやってい
ます

曲水の宴

何をしているか分かりますか？

和歌(5/7/5/7/7)を作っています！

お酒の入れた杯が乗っています。
自分の目の前に来るまでに、
和歌を作れない時は、罰としてお酒を
飲むという宴会です。



蘭亭序(らんていじょ)について

- 王羲之が東晋時代の永和九年(353年)に、県知事をしていた当時の領地であるの蘭亭という場所に、地域の有名人41人を集めて宴会をした時に.....

できた漢詩を集めて本を作ることになりました。
本の序文(前書き)を誰が書くのか？

宴会の主催者である、王羲之が書くことに.....

その場で書いたものを、
家に持ち帰って何十回と書き直しますが、
その場で書いたものに及びません。



その場で書いたものが、清書として残っていくこ
とになりました。



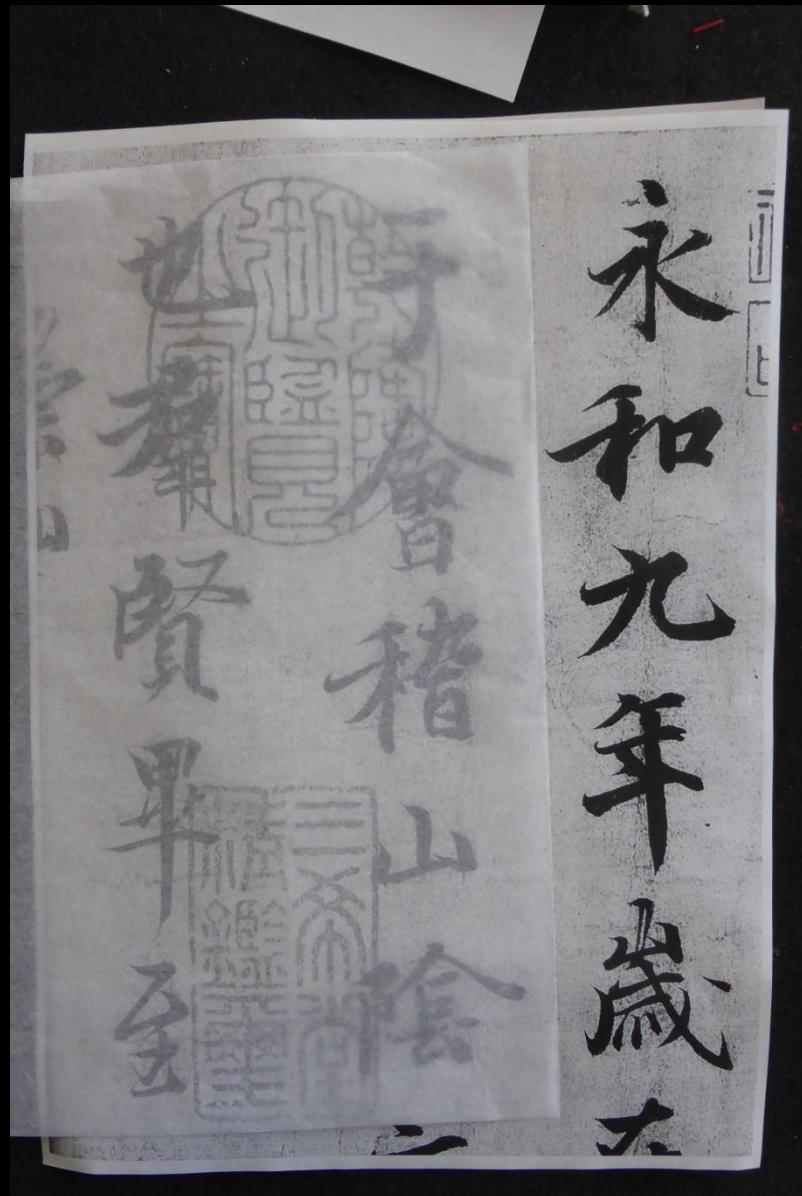
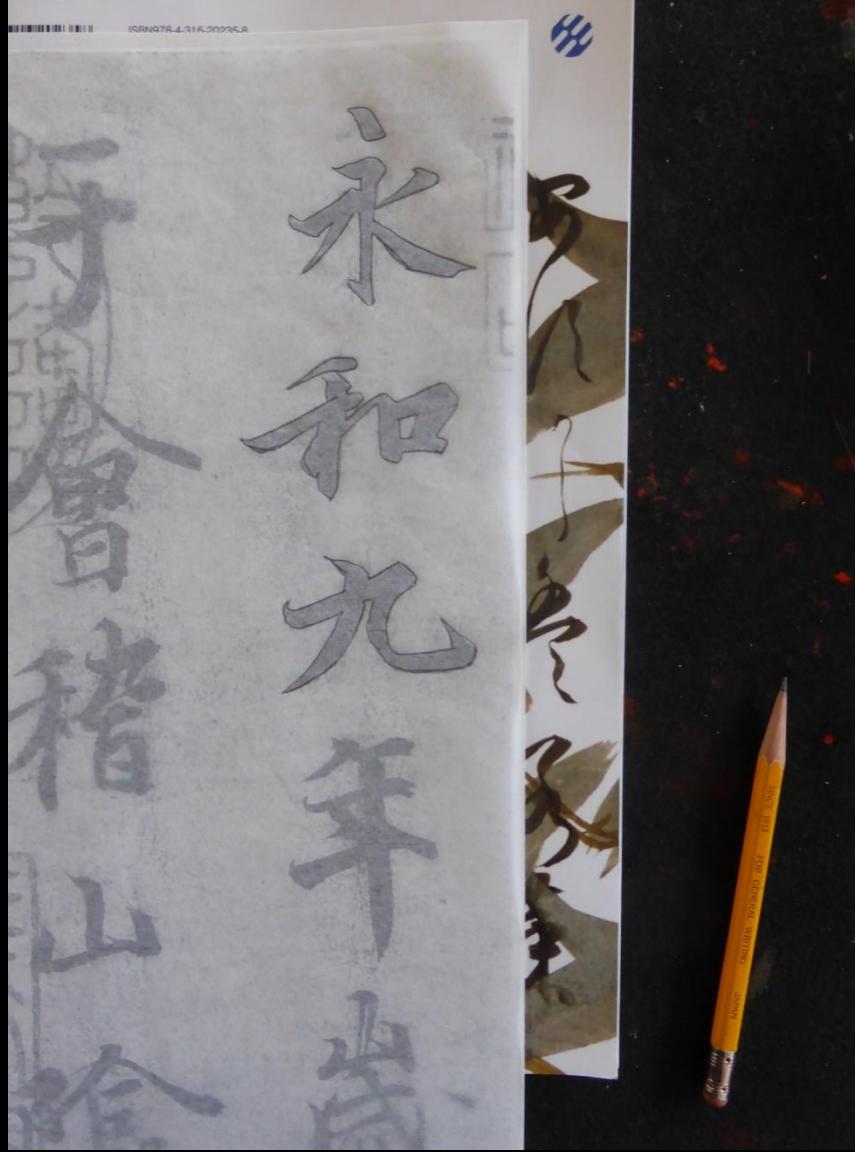
唐の時代(600～)の皇帝、太宗が「蘭亭序」の
複製を作らせることになります。

どうやって、複製を作った
でしょうか？

何かを綺麗に写し取りたい時
どうしますか？

- ①原本の上に薄い紙を乗せ、輪郭を写す。
- ②輪郭の内側を黒く塗る。

双鉤填墨(そうこうてんぼく)



永
和
九
年

永
和
九
年

永
和
九
年

出典

- 教科書 教育出版 書道 I